



5/8

災害等発生時の防疫活動に関する協定を締結 害や感染症の防疫体制を強化

市と一般社団法人岐阜県ベストコントロール協会の後藤貫八郎会長（写真：中央）との間で、市内で災害や新型コロナウイルスなどの感染症が発生した場合に、相互に協力して消毒作業などの防疫活動を行うための協定を締結しました。

市役所で行われた締結式で都竹市長は「感染症だけでなく水害等においても幅広い場面で対応ができる協定となる。こういった備えをしながらコロナ対策に力を入れていきたい」とあいさつされました。



5/21

飛騨市の関係人口の創出・拡大を図る

市と飛騨信用組合の黒木正人理事長（写真：右）との間で、市が推進している関係人口の取り組みについて、相互に連携、協働して活動を推進し、関係人口の創出と拡大を目的とした連携協定を締結しました。

市役所で行われた締結式で黒木理事長は「ひだしんで取り組んでいるクラウドファンディングや、さるぼぼコインなどこれまで培ったノウハウやアイデアを地域の活性化につなげ、飛騨市に協力したい」とあいさつされました。



5/26

避難所運営に必要な段ボールを安定供給

市と折長段ボール（株）の鎌村直樹社長（写真：右）との間で、災害時の避難所で必要な、段ボールベッドや間仕切り用シート等を同社から市へ安定的に供給する協定を締結しました。

市役所で行われた締結式で鎌村社長は「毎年全国で何かしらの災害が起きています。役に立ちたいと考えていた。試作中の段ボールベッドをより簡単に組み立てられるよう改良していく」と話されました。



広報ひだまち特派員レポート

市民ライターがまちの話題をお届け！！

5月から採用している市民ライター「広報ひだまち特派員」が市内のさまざまな話題をお届けします。
(特派員：小林 淳子・岡田 望)

5/3

地域の病院にエールを！！

(特派員 小林 淳子)

神岡のレールマウンテンバイクガッタンゴーを運営するNPO法人神岡・町づくりネットワークからガッタンゴーで使用する雨合羽310着、ズボン391着、靴カバーを飛騨市民病院さんへ寄贈されました。

事務局の田口由加子さんは「私たちがたまたま持っていたカッパと靴カバーで大事な先生や看護師さんたちを守ることができるなら！という思いで贈ろうと思った」と語り、受け取った黒木院長は「飛騨ではまだ感染者は出ていないが、この気持ちで本当に嬉しい。ありがたい、引き続き感染防止に全力を尽くしていきたい！」と語り、感謝状を送られました。



5/24

まるで図書館のような??絵本展

(特派員 小林 淳子)

5月19日から飛騨の絵本作家ワダアスカさん、月夜ぼたんさんの絵本展が開催され、24日には、「副館長さんと絵本を読もう」と題し、上屋美千弘副館長さんによる鑑賞授業が開催され、1組の親子さんが参加されました。

副館長さんから絵本を紹介されながら、絵をひとつひとつ丁寧に「何に見える?」「どんなことを思った?」などお話ししながら、想像力を膨らませ、絵本の世界に入り込んでいくという鑑賞授業でした。

参加された小学5年生の北平陸人くんは「いつもの絵本の読み聞かせとはまた違った面白さがあった!」と喜んでいました。



広報ひだまち特派員をご紹介します!! ~小林 淳子さん~

「飛騨市の今!」を、市民目線で、分かりやすくお伝えすることができたらと思います!どうぞよろしくお願いします^_^